



お便り日和

テーマ「思い出の曲」

きままに川柳

お題「チェンジ」

青春

星くず (泉町)

30数年も前のこと、ラジオの深夜放送全盛期時代。十代最後の思い出にと、『ちよっと切ない失恋』の詩を番組に寄せたところ、思いがけなくバックグラウンドミュージックとともに、自分の投稿がDJの声で流れてきました。冷や汗やら熱くなるやら…急いでテープに録りました。後でゆっくり聞いたのですが、バックの曲の題名が分からない、英語であることとグルーブが歌っていること以外。その放送から30年目、市の男女共同参画事業の一環で、その

DJが講師として招かれたとき、会いに行きました。DJの話もそこそこに、あの日のあの夜のあの数分のラジオの音が、曲が、頭の中をグルグル巡りました。題名が分かったその調べは、ビートルズの「マイラブ」。甘酸っぱい香りの残るこの曲を聴くたびに、青春に戻れる私です。(広報)先日取材に訪れた蓄音機でのレコード鑑賞会で、参加者が「女学生の頃を思い出す」と話していました。音楽は思い出を際立たせてくれますね。

アンデスの向こうに

両親は日本人

思い出の曲といえば、コンドルは飛んでいく“は外せません。初めて聴いたのは小学3年生の頃。透明感のあるどこか寂しげなその曲に、私はドキッとしました。後で調べると、アンデス諸国の民俗音楽を代表する名曲でした。ケーナという縦笛が奏でる音色が私のDNAを呼び覚ますのか、いつ聴いても涙腺が緩んでしまいます。そういえば初めてこの曲を聴いた夜、タンクも緩んだのでしょうか。布団に南米大陸を描いたことも、思い出です。

お守りの四語

ごでいば

約十五年前、初めて買ったCDは「QUEEN」のベスト盤。特に「ドント・ストップ・ミー・ナウ」がお気に入りだった。疾走感あふれるメロディー、何度でも繰り返される「今は俺を止めてくれるな」というフレーズ。当時は十代で、親や学校に反発し、ままならない事も多かった。けれど、彼らが自分の代わりにより自由を歌ってくれている気がして、勇気づけられた。たった四語の力強い言葉は今でも、これからも、私にとってのお守りだ。

桜さく道路がピンク花の道

こねこ

チェンジして若い命に夢を見る

小阪千枝子

ゴミ出しをたまにはチェンチ妻が出す

佐竹マスお

チェンジして一歩踏み出す壮快さ

かず慧

春日より頭まるめてチェンジする

足立昌代

お尻振っていた子はチェンジコマーション

木偶

チェンジしてプラス指向で歩む道

光ちゃん

5月1日号の投稿募集

お便りテーマは「…グッときた!!」です。心を掴まれた仕草やフレーズ。皆さんのグッときた瞬間をテーマに200字以内(タイトル別)でお寄せください。

川柳のお題は「こども」です。
(1人一句)

締め切りは4月22日(月)です。

■応募・問い合わせ

住所・氏名またはペンネームを明記し、秘書広報課広報広聴係へ。

〒509-5192(住所不要)

☎54 1111(内線185) / ☎55 7763

✉ koho@city.toki.lg.jp

※応募多数の場合は採用されない場合があります。また、お便りについては、採用に当たり趣旨を変えない程度で表現を変更する場合がありますので、ご了承ください。掲載の際に投稿者へのご連絡は行っていません。